

FUJITA

**2025年3月期第2四半期
決算補足説明資料**

2024年11月14日

株式会社フジタコーポレーション

証券コード:3370

○当四半期は増収・増益

売上高 : ベビーフェイスプラネットの新規出店（4月）、かつてんイオン桑園店の取得（5月）及び既存業態の堅調、子会社売上の増加によって、前期より289百万円増加。一方閉鎖店の影響等により100百万円減少したものの189百万円の増収となった。

営業利益 : 新規出店による開業費等の経費増及び特定技能外国人雇用によるイニシャルコストの増加等第一四半期に年間計画達成に向けた投資が活き増益となった。

	24.3期2Q		25.3期2Q		前期比		年間計画	
	実績	売上高比	実績	売上高比	金額	対比	計画	進捗率
総売上高	2,188		2,377		189	108.6%	4,957	48.0%
売上総利益	1,253	57.3%	1,406	59.2%	153	112.2%	2,826	49.7%
営業利益	25	1.2%	35	1.5%	10	136.5%	131	26.7%
経常利益	31	1.4%	31	1.3%	—	99.3%	140	22.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	11	0.5%	13	0.6%	2	115.5%	105	12.4%

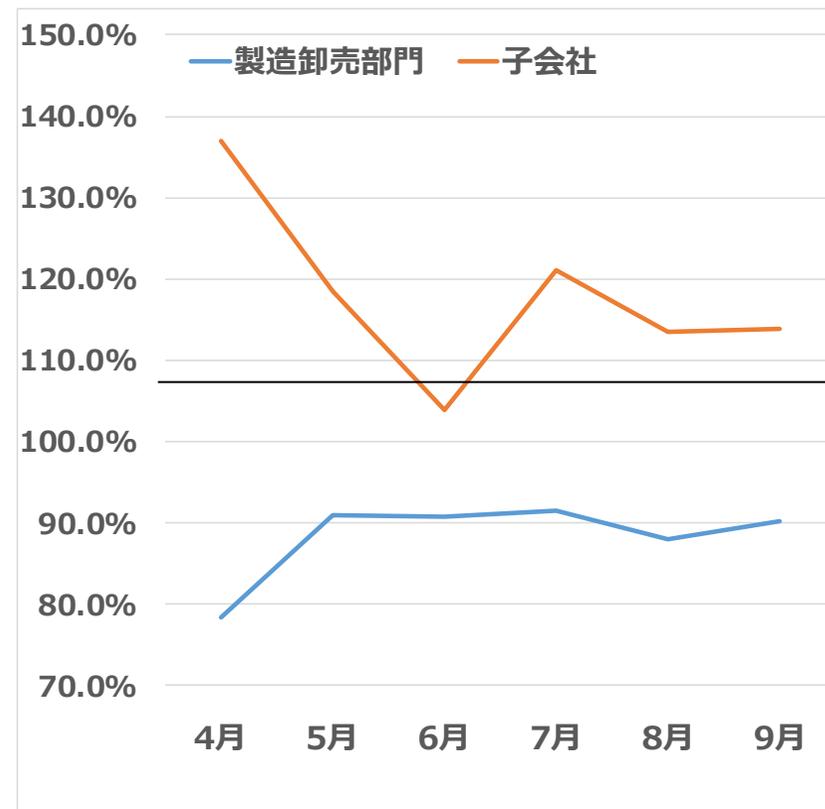
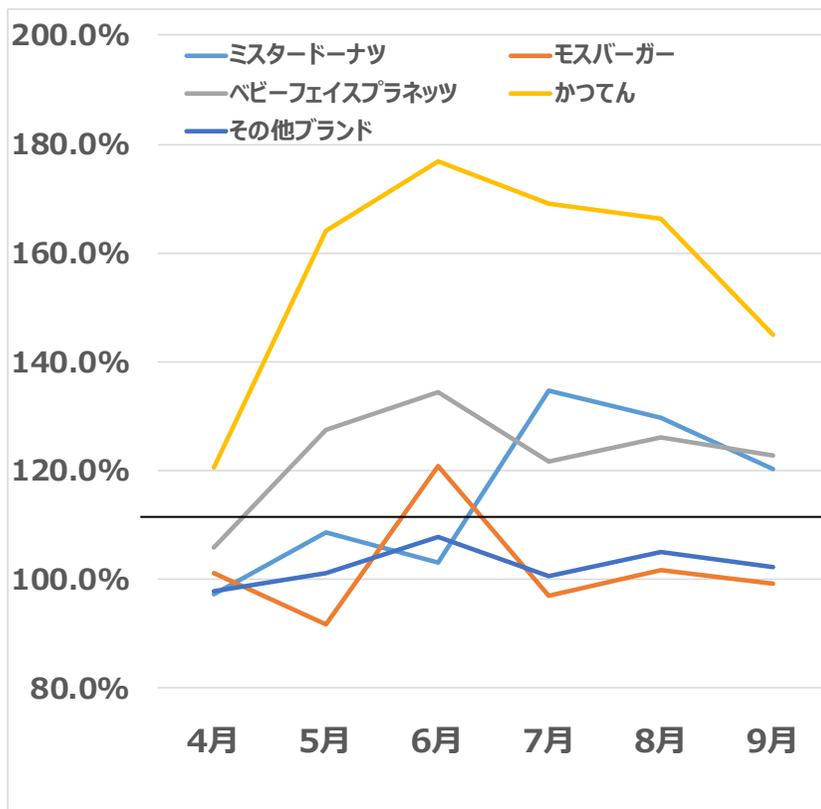
○セグメント別ー売上高実績

- 飲食小売部門が前第2四半期から+274百万円（前年同期比108.6%）
- 連結子会社の売上増加+15百万円
- 製造事業の売上減少△25百万円（前期ふるさと納税ルール変更に伴う影響）
- 事業閉鎖による売上影響△75百万円



売上高前年比の推移（既存店）

- 飲食・小売部門においては、全ブランドで前期より伸長している
- 製造卸売においては、出荷時期の相違により下回っている。
- 子会社農畜産部門は乳牛増頭施策により伸長。



部門名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間期
ミスタードーナツ	97.2%	108.5%	103.1%	134.8%	129.8%	120.2%	115.1%
モスバーガー	101.0%	91.8%	120.9%	97.0%	101.6%	99.2%	101.2%
ベビーフェイスプラネット	105.7%	127.5%	134.3%	121.8%	126.0%	122.9%	122.9%
かつてん	120.4%	164.0%	176.9%	169.1%	166.2%	144.9%	156.9%
その他ブランド	97.8%	101.1%	107.8%	100.6%	105.0%	102.2%	102.4%

部門名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間期
製造卸売部門	78.3%	90.9%	90.9%	91.5%	88.0%	90.2%	87.9%
子会社	136.9%	118.5%	103.9%	121.1%	113.5%	113.9%	117.4%

○セグメント別ー営業利益実績

- 飲食・小売部門が前第2四半期から35百万円
- 製造事業が前第2四半期から△7百万円（ふるさと納税ルール変更に伴った売上減少による影響）
- 事業閉鎖による利益影響 +6百万円
- 連結子会社△1百万円
- 特定技能外国人雇用及び新規出店等により△24百万円



○連結貸借対照表

(百万円)

	前期末	第2四半期末	増減額
流動資産	855	669	▲186
現金及び預金	515	349	▲166
その他	340	320	▲20
固定資産	1,994	2,059	64
有形固定資産	1,290	1,369	79
無形固定資産	210	202	▲8
投資その他の資産	494	488	▲6
資産合計	2,849	2,728	▲121

	前期末	第2四半期末	増減額
流動負債	737	759	22
短期借入金	249	239	▲11
1年内返済予定長期借入金	82	171	89
その他	406	350	▲56
固定負債	1,973	1,815	▲157
長期借入金	1,846	1,695	▲151
その他	126	120	▲7
負債合計	2,709	2,574	▲135
純資産合計	139	153	14
負債・純資産合計	2,849	2,728	▲121

○新規出店（ベビーフェイスプラネット札幌手稲店）により、固定資産が増加

1. 営業店舗の出店・改装

- ① ベビーフェイスプラネット札幌手稲店出店（4月）
- ② かつてんイオン桑園店（5月：FC店の直営化）
- ③ ミスタードーナツ苫小牧バイパスショップ改装（7月）
- ④ 10月ミスタードーナツ3店舗改装
- ⑤ 11月モスバーガー1店舗美装改装



2. 特定技能外国人の雇用

人材不足解消と今後の海外展開を見据え特定技能外国人の雇用を開始。
⇒前期10人採用、当期は8月までで6人採用



3. 子会社TOMONIゆめ牧舎

生乳買取価格は上昇、飼料価格単価は減少し経営環境が改善している。

① 生産量増産に向け乳牛購入

2月から9月にかけて43頭購入（投資総額20百万円）⇒前年同時期比で43頭増加
頭数増により生産乳量が増加し、売上高117.3%となった。

⇒10月以降も売上・利益に寄与する見込み

② 飼料費削減に向けデントコーン作付の更なる拡大。

③ 廃用牛の加工、商品化⇒かつてんメニュー化、リテール販売

⇒前年第2四半期営業利益▲21百万円に対し▲22百万円（▲1百万円）



- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料の内容及び資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保障するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性や完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更又は廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本資料は投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合であっても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。
- 資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。